

平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

1. 学校概要

学校名 羅臼町立春松小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

所在地 〒 086 - 1841
北海道目梨郡羅臼町八木浜町190番地

E-mail shunshou@seagreen.ocn.ne.jp

Website <http://blog.goo.ne.jp/shunshou-seagreen>

児童生徒数 男子 53 名 女子 46 名 合計 99 名
 児童・生徒の年齢 6 歳～ 12 歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

ユネスコスクールとしての活動・全体計画

学年	単元名	対象	学 習 内 容	外部との連携	フィールドワーク	時数
3年生	ふるさと探検隊Ⅰ	植物 昆虫	④身近な草花や樹木を知る学習 ④身近な昆虫を知る学習 ②在来種と外来種を知る学習 ②ハチ学習 ④外来植物を使った(駆除とその利用)草木染め ex.オオアワダチソウ(黄)・ムラサキツメクサ(薄紫)・キヌガサギク(黄) ⑥まとめ・校内発表会	○知床財団 ハチ学習 ○羅臼町教育委員会 ○羅臼町郷土史料館	⑤熊越の滝	27
4年生	ふるさと探検隊Ⅱ	動物	②知床に生息する陸の動物を知る学習 ②知床に生息する海の動物を知る学習 ②クマ学習 ⑩テーマ学習 ⑥まとめ・校内発表会・町内ユネスコスクール発表会	○知床財団クマ学習 ○羅臼町ビジターセンター ○羅臼町教育委員会 ○羅臼町郷土史料館	⑥英霊山	28
5年生	ふるさと学び隊	環境 地域	⑮昆布や魚と自然環境について調べるテーマ学習 ②サケ学習 ※ユネスコスクールとの交流 ⑥まとめ・校内発表会	○羅臼漁協サケ学習 ○知床自然センター ○斜里側(峰浜小学校 or ウトロ小学校)ユネスコスクール	⑥知床峠經由ウトロトレッキング 知床自然センターフレペの滝 オシンコシンの滝	29
6年生	ふるさとふれあい隊	人 地域	⑯地域を支える様々な人について調べるテーマ学習 ex.漁師・酪農家・町長・自営業者・医者・看護師・消防士・救急救命士・警察官・住職・各種先生・写真家・陶芸家・〇〇に詳しい人等取材したい人複数 ②ユネスコスクールとの交流「羅臼の未来を考える」 ⑥まとめ・校内発表会	○地域の人々 ○羅臼町教育委員会 ○ユネスコスクール(羅臼小学校)	⑥羅臼湖	29

このほかに

5年生は「北方領土(12)」(2. 人権, 民主主義の理解と促進)
6年生は「Make Piece!」(2. 人権, 民主主義の理解と促進) がある。

3 特徴的な活動事例

(1) 校外学習



各学年の発達段階に合わせて、難易度を変え、羅臼の生態や地形について学びながら、世界自然遺産の雄大さについて感じる体験的な学習。

1・2年生については生活科で羅臼町郷土資料館内や前庭、裏山、前浜などで自然の変化や様子について体験を通して気付く学習を行っている。

(2) 北方領土学習(2. 人権, 民主主義の理解と促進)

5年生は、北方領土の歴史や返還への取組について学習し、北方領土の問題について関心をもつことをねらいとして、元島民の方の話を聞いたり、根室の北方領土資料館を見学したりしている。今年は、宿泊学習に北方少年少女塾を組み込んで実施した。



(3) Make Piece! (2. 人権, 民主主義の理解と促進)

6年生は、戦後70年経っても解決されていない北方領土問題や核兵器の問題から、ユネスコスクールとの交流等を通して、世界平和について考えることをねらいとして学習を進めてきた。「原爆の子の像」のモデルになった少女の生涯と広島が歩んできた歴史を通して核兵器の問題を自分の祖父母や元島民の講話から北方領土問題を追究した。また、広島県の幟町小学校(少女の母校、ユネスコスクール)には、担任が平和学習の視察に学校を訪問し、全校児童で折った千羽鶴を届けた。



(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）